

2024年11月期

第2四半期決算補足説明資料



2024年7月12日
MITホールディングス株式会社
証券コード 4016

第一部 2024年11月期第2四半期決算概要

- 第2四半期トピックス
- 第2四半期決算ハイライト
- 四半期別の業績推移
- サービス別四半期売上高推移
- サービス別売上高・売上総利益・粗利率
- 営業利益の増減要因分析
- 損益計算書の概況
- 2024年11月期 業績予想に対する進捗
- 配当方針

第二部 Appendix

2024年11月期 第2四半期決算概要

四半期売上高の過去最高額を更新

- 四半期売上総利益も過去最高を更新。
- 対前年四半期比(QoQ)の売上高は**13四半期連続**で増加。

ベースアップに伴う賃上げの実施

- 昨年に引き続き、当年4月にベースアップを実施。
- グループ平均賃上げ率 **4.9%**

利益率改善

- DXソリューションの増収効果により、連結粗利率が改善。
- 前期2Q累計 **22.2%** ⇒ 当期2Q累計 **23.5%**

DXソリューション新サービスを順次リリース

- 基本料0円から始められるデジタルブック配信サービス『**Trend Tap**』
- 新規顧客開拓におけるマーケティング活動をサポートする『**MA Tree**』
- 『**Wisebook EdTech**』の機能追加並びに、教育出版社との協業開始

売上高

25億40百万円

前年同期比 +2億46百万円増
(10.7%UP) 

売上総利益

5億96百万円

前年同期比 +87百万円増
(17.2%UP) 

営業利益

1億9百万円

前年同期比 +94百万円増
(622.2%UP) 

経常利益

1億1百万円

前年同期比 +78百万円増
(340.0%UP) 

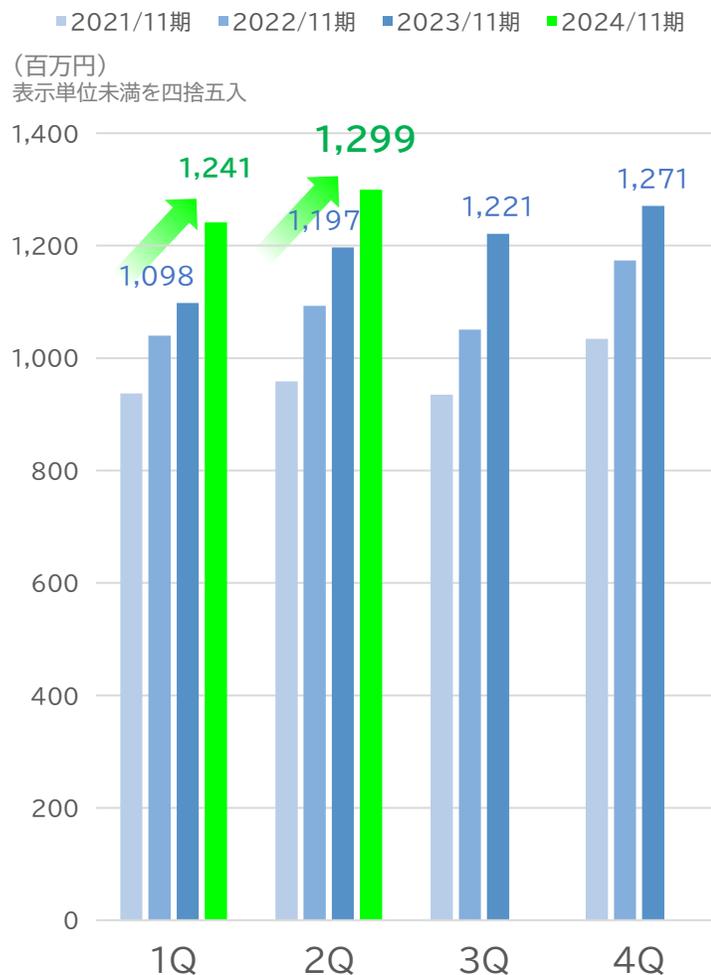
当期利益

61百万円

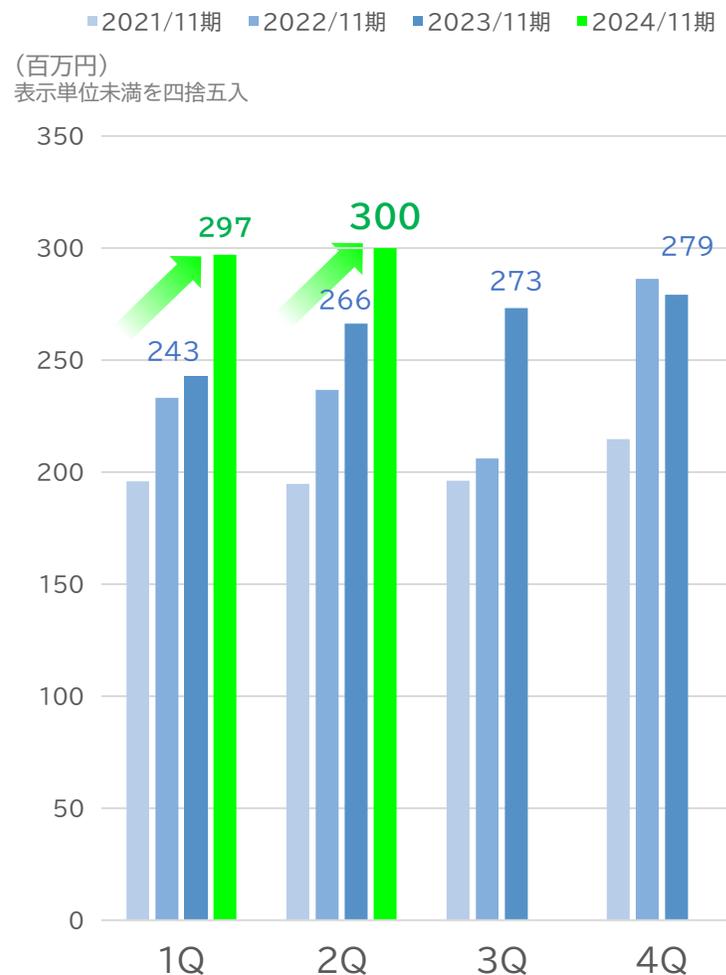
前年同期比 +60百万円増
(3639.8%UP) 

■ 当期四半期別の売上・利益は、前年同期比および前四半期比において順調に増収増益となり、第2四半期過去最高を更新。

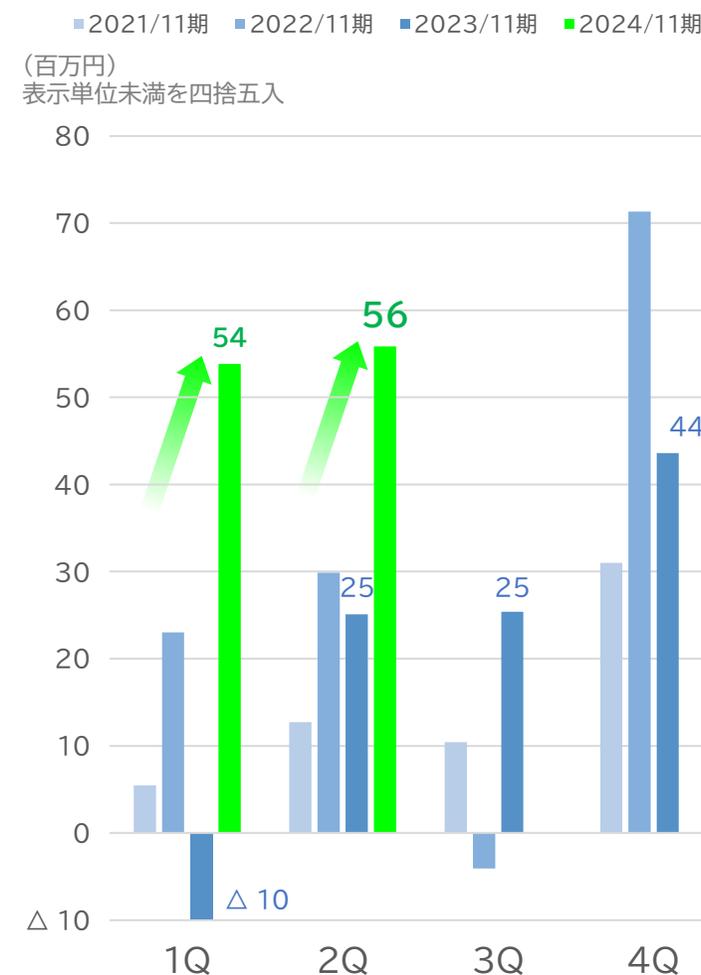
売上高



売上総利益



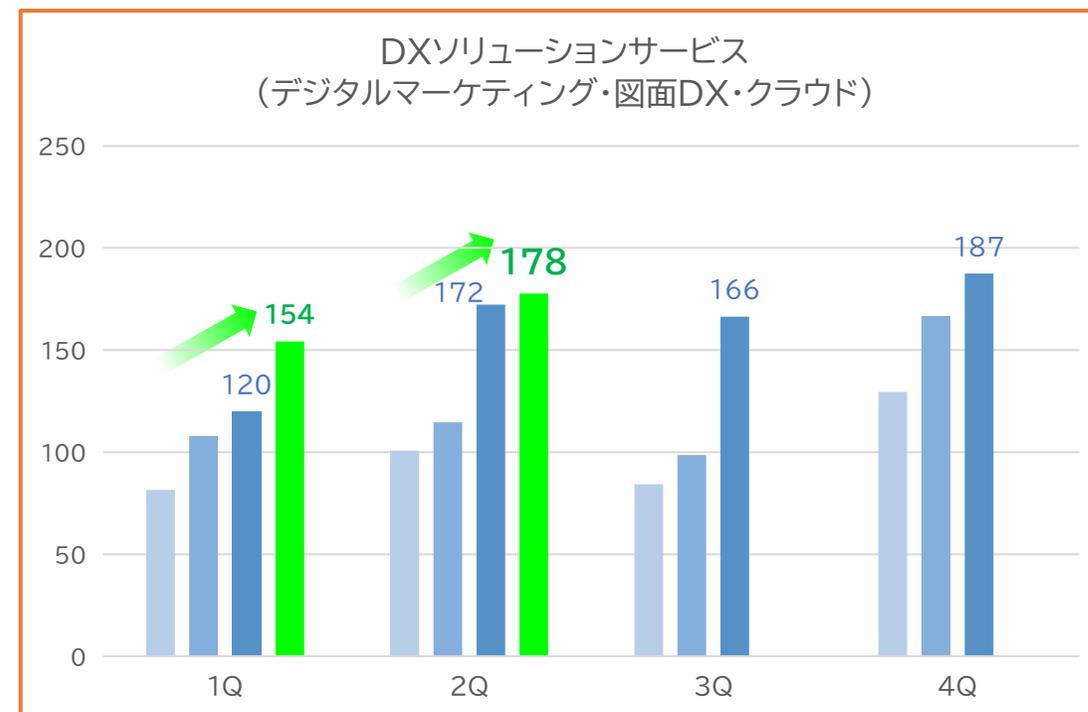
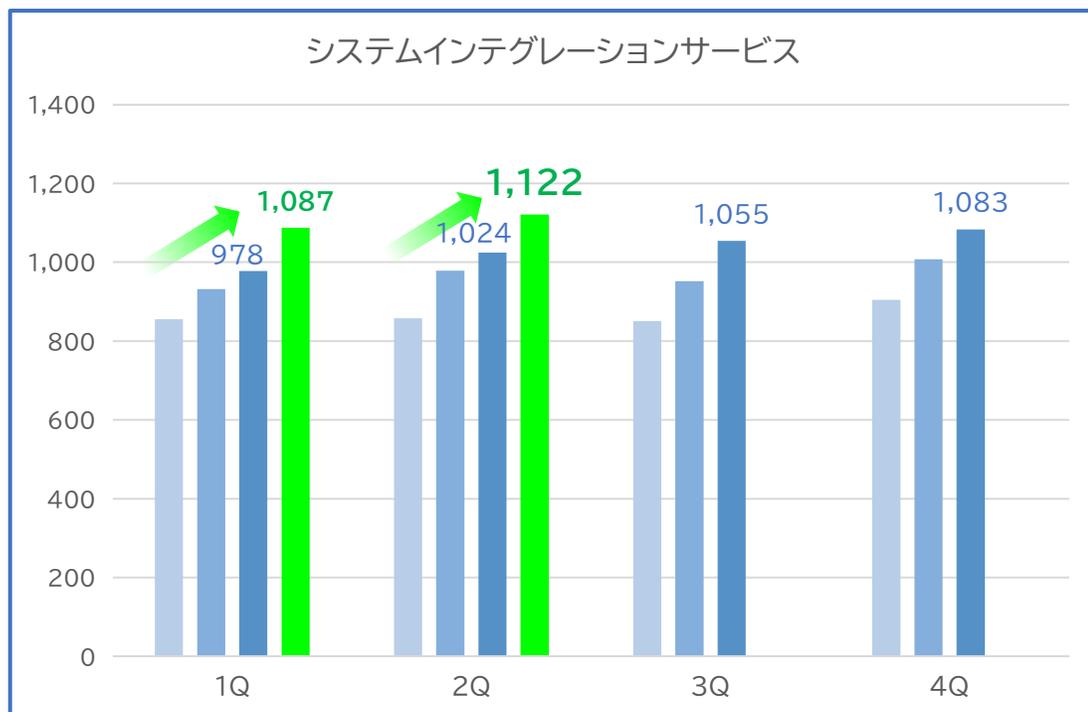
営業利益



■ サービス別売上高でも、第2Qの過去最高売上を連続更新。

グラフ単位：百万円（表示単位未満を四捨五入）

■ 2021/11期 ■ 2022/11期 ■ 2023/11期 ■ 2024/11期



➤ 2Q売上 **11億2,159万円** (前期比+9.5%)

■ 「公共」「エネルギー」「運輸・物流」分野のニーズを背景に、主要顧客からの受注が堅調に拡大。

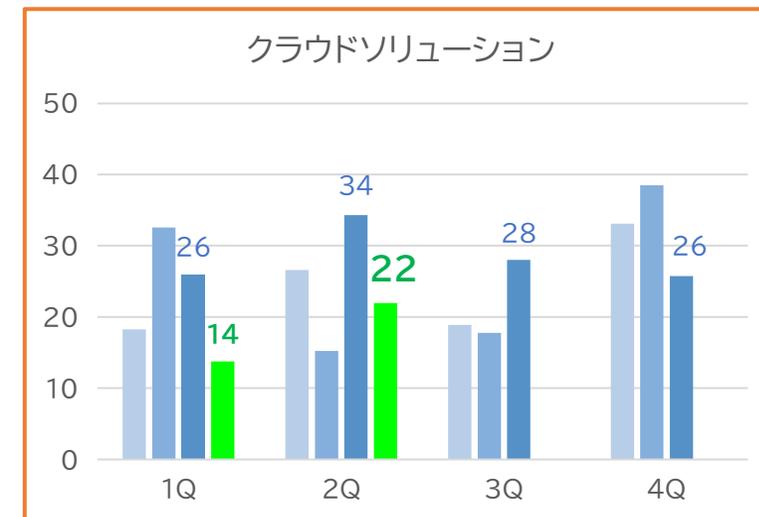
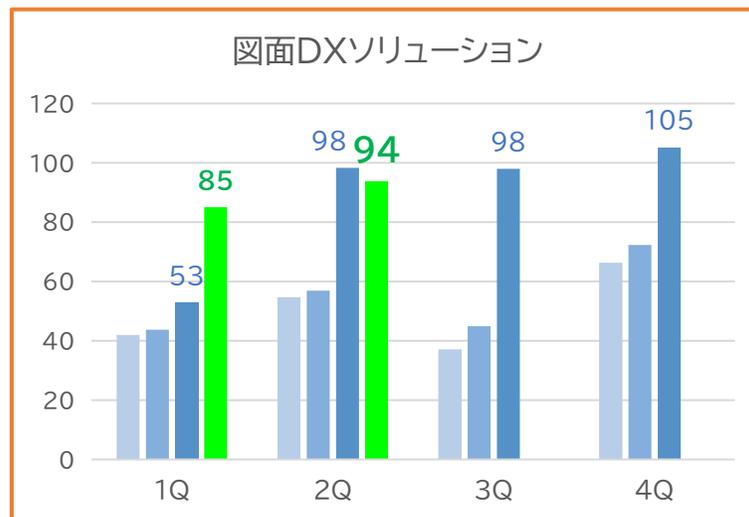
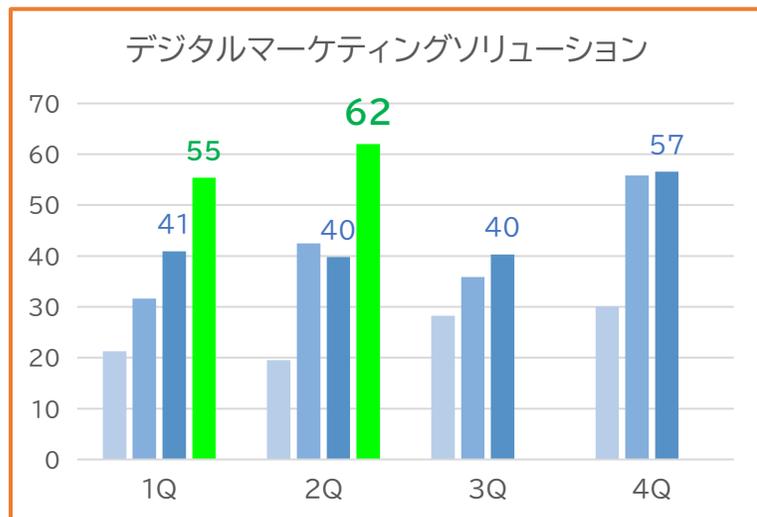
➤ 2Q売上 **1億7,773万円** (前期比+3.1%)

■ 自社プロダクトである「Wisebook」&「DynaCAD」の高利益率ビジネスへの選択と集中を強化。

■ 高収益率のデジタルマーケティング、図面DXへの選択と集中を強化。

グラフ単位：百万円（表示単位未満を四捨五入）

■ 2021/11期 ■ 2022/11期 ■ 2023/11期 ■ 2024/11期



➤ 2Q売上 6,200万円(前期比+56.0%)

■ Wisebookバージョンアップ案件の受注が堅調に推移。

■ 『TrendTap powered by Wisebook』、『MA Tree』、『Wisebook EdTech』などの新サービスや追加機能を順次リリース。

➤ 2Q売上 9,376万円(前期比△4.6%)

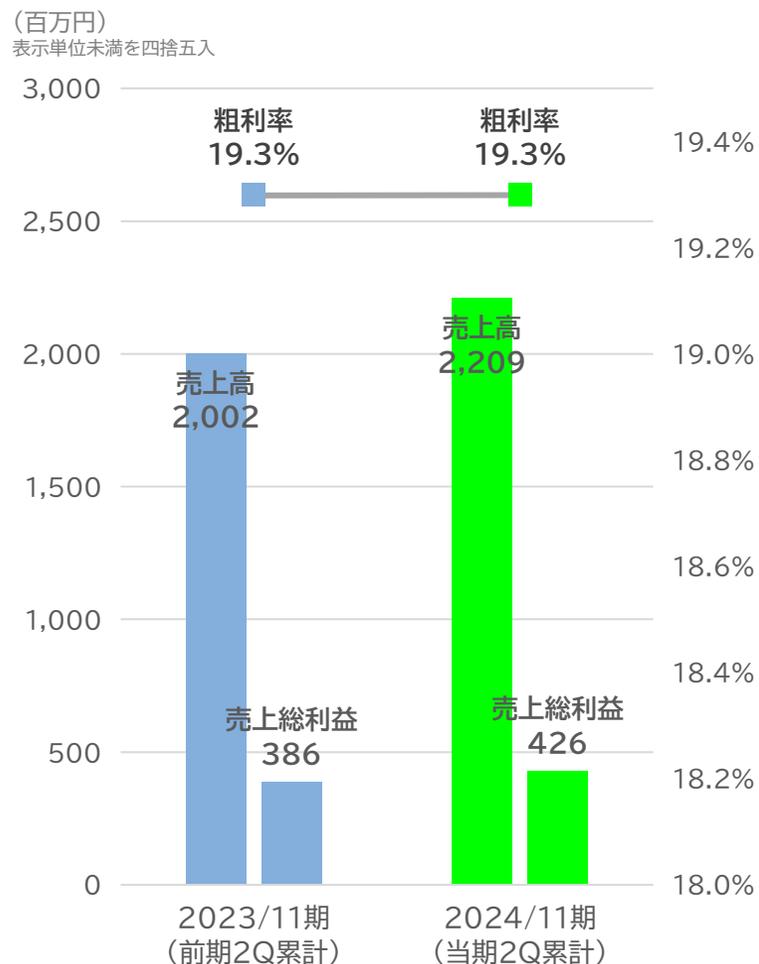
■ 自社プロダクト『DynaCADシリーズ』の販売保守及び、紙図面の電子化サービスや足場図面のCAD製図サービスの売上が堅調に推移。

➤ 2Q売上 2,195万円(前期比△36.0%)

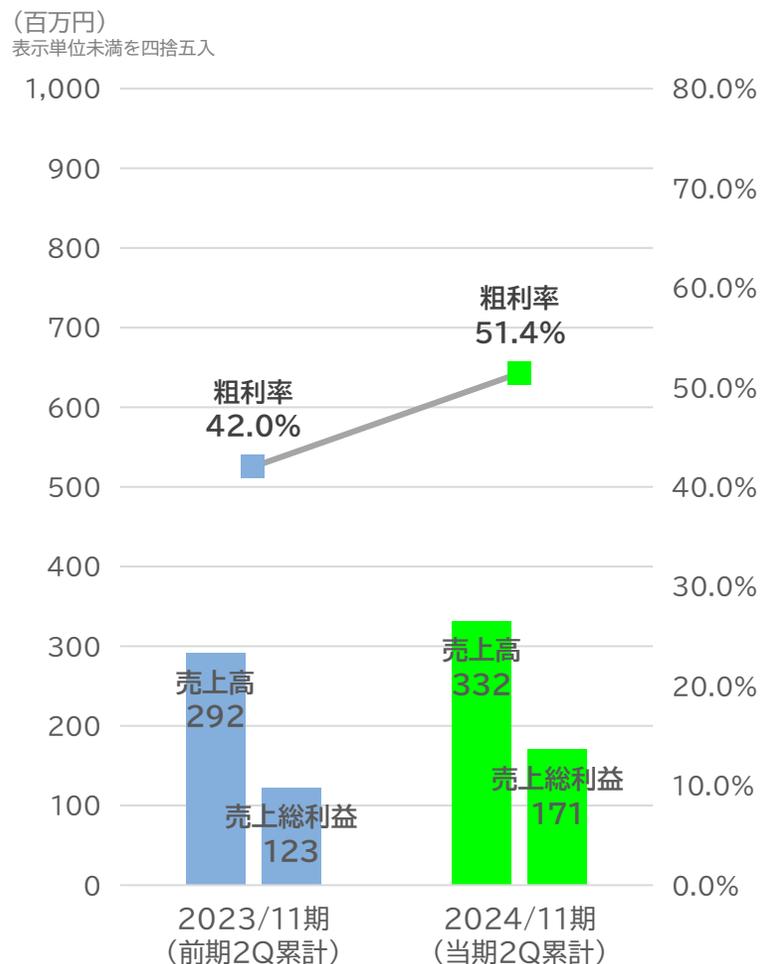
■ 自社プロダクトへの選択と集中のため営業規模を縮小。『The Meal』、『自治体申請ナビ』、『駐輪場管理システム』などのクラウドサービスを中心とした事業を展開。

■ DXソリューションは売上拡大により粗利率9.4ポイント向上の51.4%、連結粗利率も1.3ポイント向上の23.5%となる。

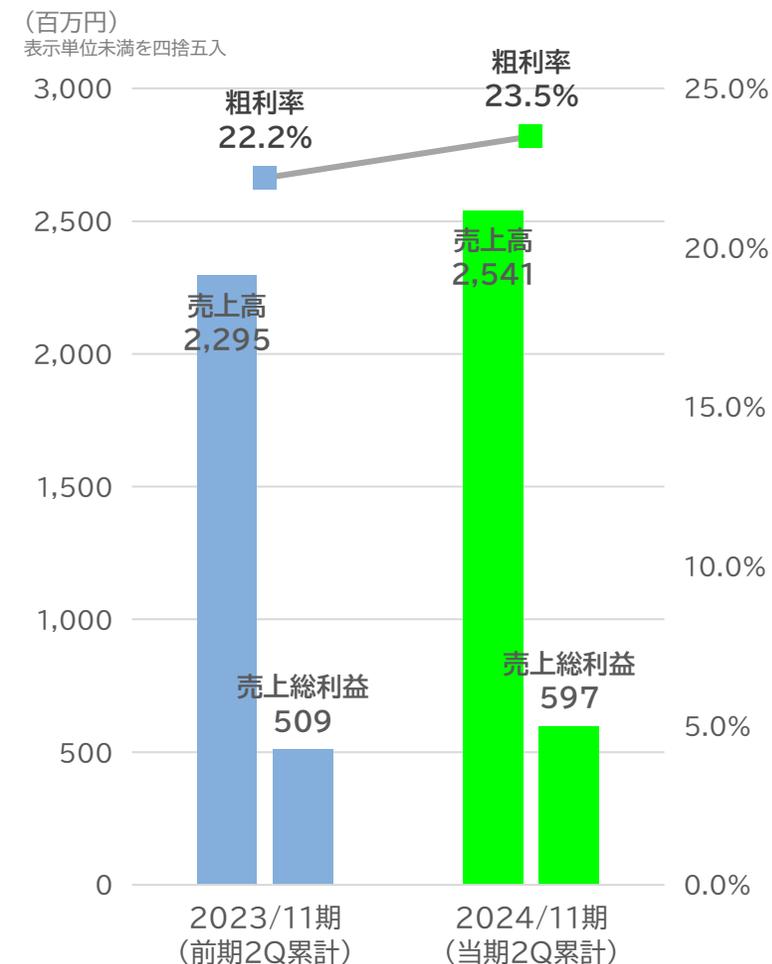
システムインテグレーションサービス



DXソリューションサービス

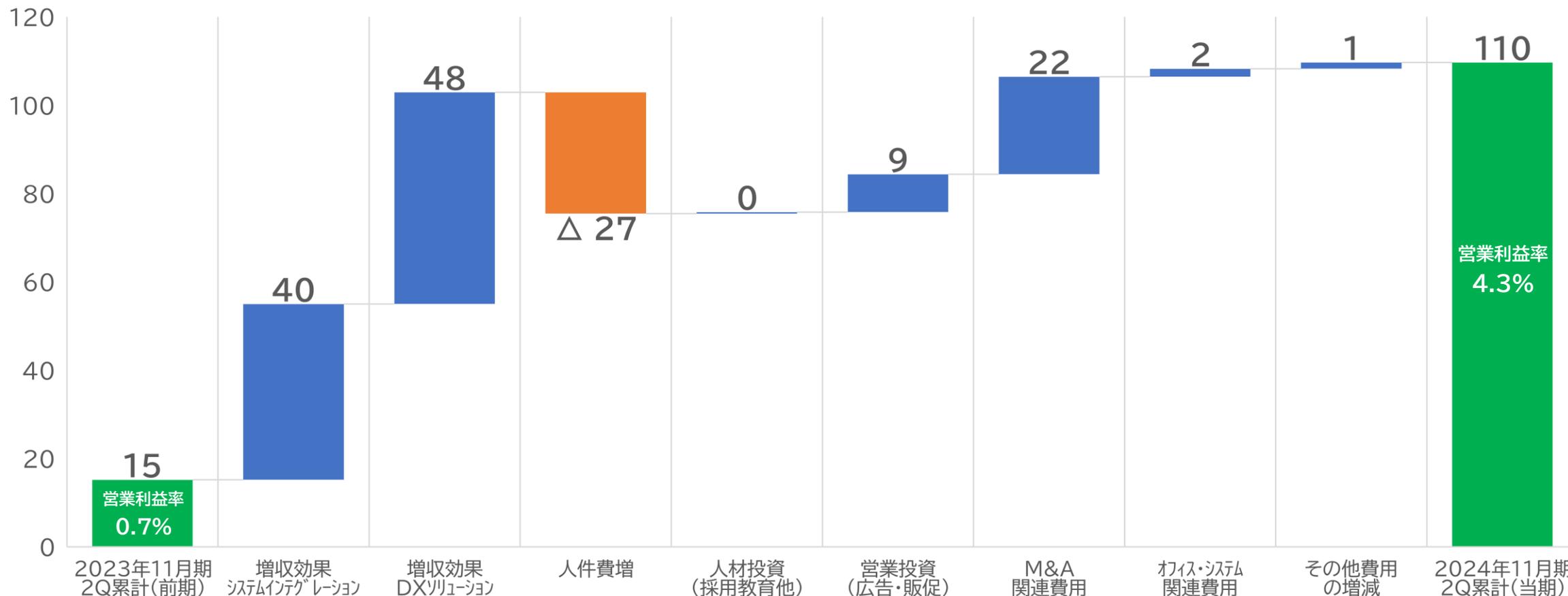


連結



- 自社プロダクトソリューション(デジタルマーケティング・図面DX)の売上拡大に伴う増収効果により利益率が改善。
- 前期は第1QにM&A関連及び広告宣伝等の営業投資による費用発生があったが、当期は増収効果+販管費の圧縮効果により営業利益は大幅に改善。

(百万円) 表示単位未満を四捨五入

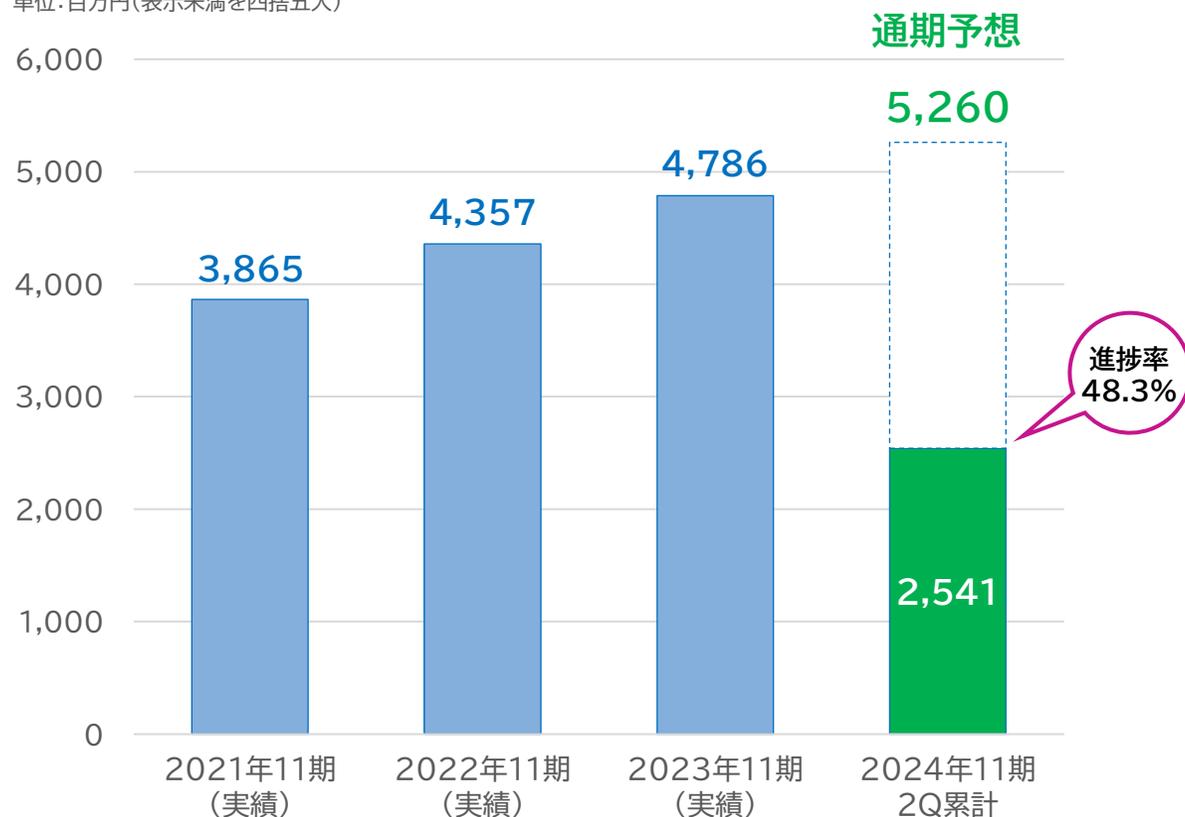


	2023年11月期 2Q	2024年11月期 2Q	前年同期比		
	千円	千円	千円	増減率	
売上高	2,294,519	2,540,545	+246,025	+ 10.7%	↗
システムインテグレーション	2,002,492	2,208,648	+206,156	+ 10.3%	↗
DXソリューション	292,027	331,896	+39,869	+ 13.7%	↗
売上原価	1,785,318	1,943,625	+158,307	+8.9%	↗
売上総利益	509,201	596,919	+87,717	+17.2%	↗
販売費及び一般管理費	494,017	487,256	△ 6,761	△1.4%	↘
営業利益	15,184	109,663	+94,478	+ 622.2%	↗
営業外収益	12,966	2,673	△ 10,293	△79.4%	↘
営業外費用	4,978	10,370	+4,328	+3785.1%	↗
経常利益	23,172	101,965	+78,792	+ 340.0%	↗
税金等調整前当期純利益	23,172	101,965	+78,792	+340.0%	↗
法人税等合計	21,519	40,150	+18,630	+86.6%	↗
親会社株主に帰属する当期純利益	1,652	61,815	+60,162	+ 3639.8%	↗

- 2024年11月期は、売上高 52億60百万円(前期比9.9%増)、営業利益 2億円(前期比137.6%増)の計画。
- システムインテグレーションの堅調な伸びとDXソリューションの自社プロダクトである「Wisebook」及び「DynaCAD」の利益率の高いビジネスへの選択と集中を強化することで、更なる受注拡大と収益力向上を目指しております。

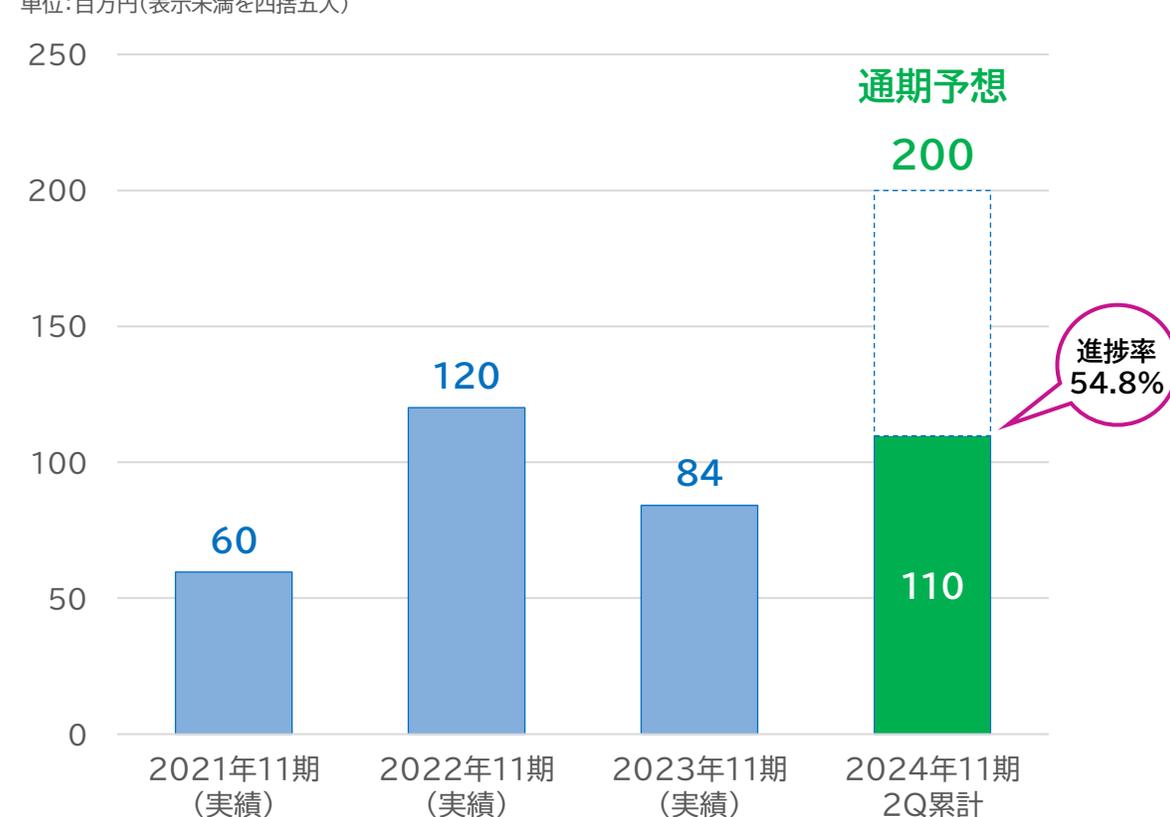
売上高

単位:百万円(表示未満を四捨五入)



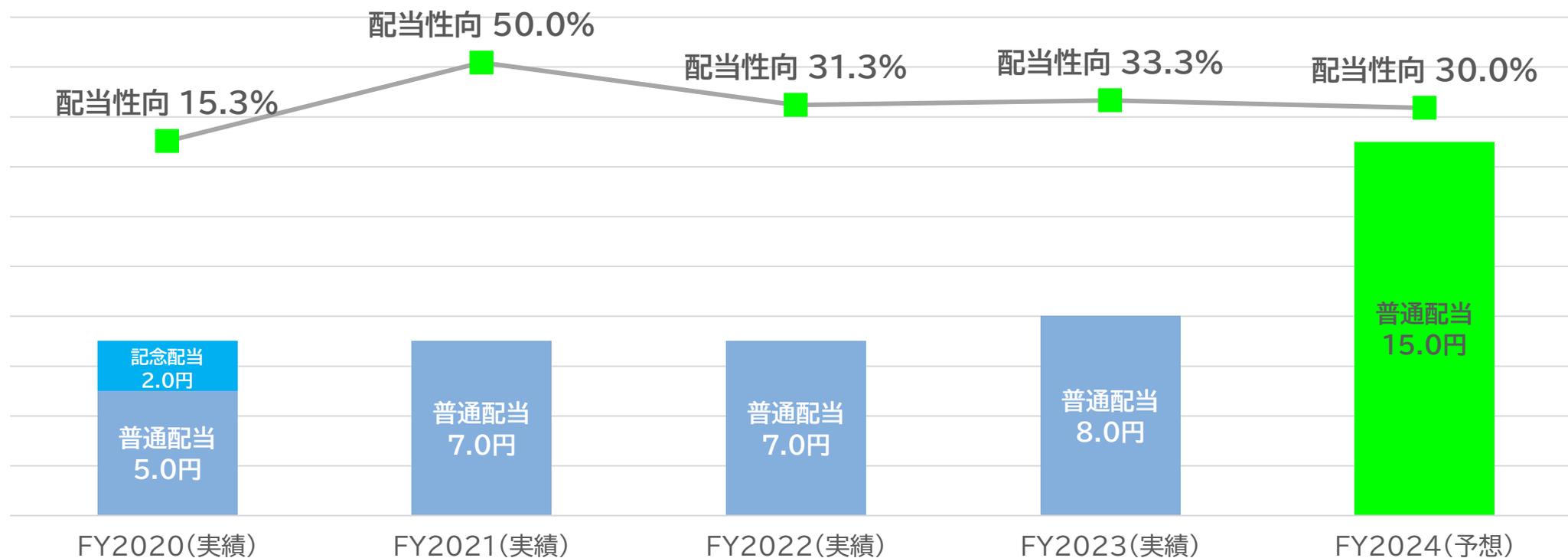
営業利益

単位:百万円(表示未満を四捨五入)



- 当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つとして位置づけており、利益の配分にあたっては、業績の推移を見据え、将来の事業の発展と経営基盤の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%以上を目安に安定的かつ継続的な配当を維持することを基本方針としております。

配当推移



Appendix

創業

1990年1月

東京都品川区にて、
株式会社システムイオ設立

設立

2009年12月

持ち株会社制度へ移行し、
MITホールディングス設立

上場

2020年11月

東証JASDAQ（スタン
ダード）に上場

市場

東証スタンダード

2022年4月市場区分再編に伴い
スタンダード市場に移行

資本金・発行済株式数

資本金

2億9,157万円

発行済株式数

2,110,600株

(2024年5月末現在)

グループ会社数

国内 5社

従業員（単体）

従業員数 18名

平均年齢 43.0歳

(2024年4月現在)

従業員（連結）

従業員数 410名

平均年齢 37.9歳

(2024年4月現在)

会社名	設立年月	代表者	従業員数 (2024年4月)	拠点	主要サービス
株式会社システムイオ 	1990年1月	代表取締役社長 野山 真二	180名	千葉本社(千葉市) 東京本社(港区)	システムインテグレーション
株式会社NetValue 	2004年6月	代表取締役社長 中森 将雄	131名	大阪本社(大阪市) 福岡営業所、川崎営業所	システムインテグレーション
株式会社ビーガル 	2007年9月	代表取締役社長 岩永 裕寿	30名	千葉本社(千葉市) 東京支社、大阪支社、他	DXソリューション
株式会社イーピーエス 	2005年1月 (2022年1月加入)	代表取締役社長 後藤 幹太	40名	東京本社(千代田区)	システムインテグレーション
株式会社ネットウィンクス 	1993年11月 (2023年2月加入)	代表取締役社長 青柳 文彦	11名	千葉本社(千葉市)	DXソリューション
Vision Links Myanmar (非連結) 	2015年9月 (2024年3月末をもって解散及び精算手続きを開始)	代表取締役社長 桑原 智成	一名	本社(ヤンゴン)	システムインテグレーション

システムインテグレーションサービス

公共サービス、金融、通信、エネルギー、物流システムなどの社会インフラを支えるシステムの構築、運用を担う。

「ITプラットフォーム・ビルダー」

社会インフラ系大規模システム開発

主要分野

- 公共サービス(中央省庁、自治体)
- 通信(携帯キャリア)
- 金融(銀行、クレジット、保険)
- エネルギー(電力、ガス)
- 運輸・物流、他

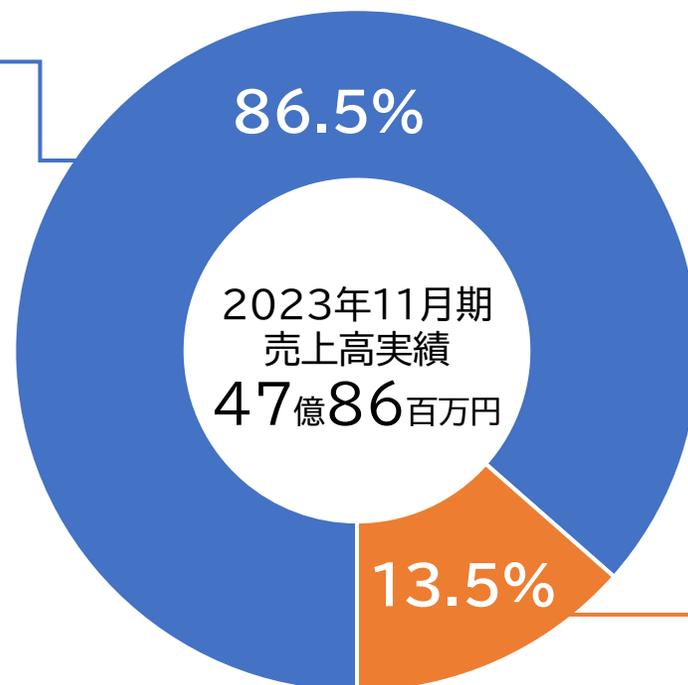
DXソリューションサービス

社会の課題を解決する場となるシステムを開発しデジタル化を通じて企業と人との繋がりを提供する。

「ITプラットフォーム・プロバイダー」

自社製品を展開するソリューション

- デジタルマーケティング
・ Wisebook(ワイズブック)
- 図面DXソリューション
・ DynaCAD(ダイナキャド)
・ 足場仮設計画図等のCAD製図
- クラウドソリューション
・ 中小規模事業者向けシステム



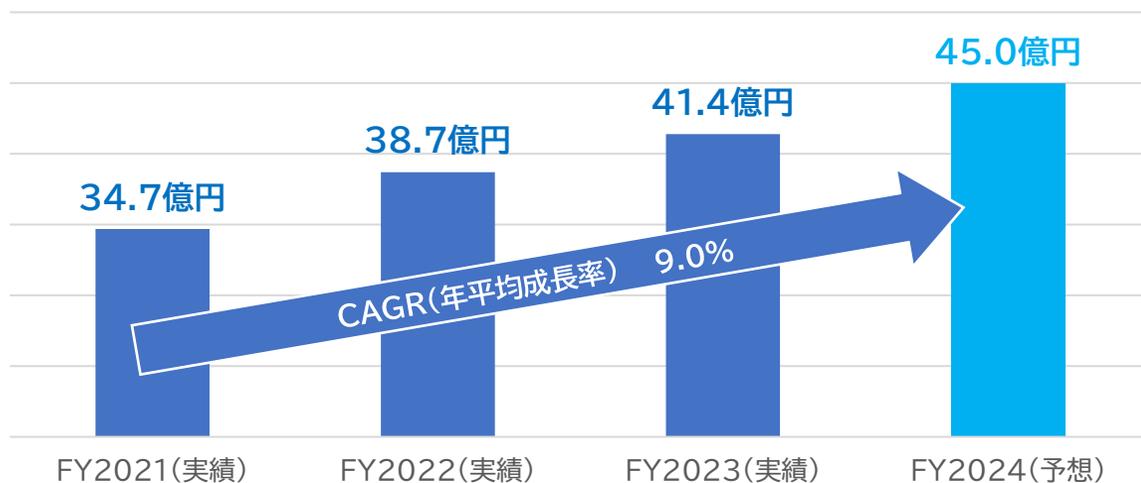
■ システムインテグレーションサービス

■ DXソリューションサービス

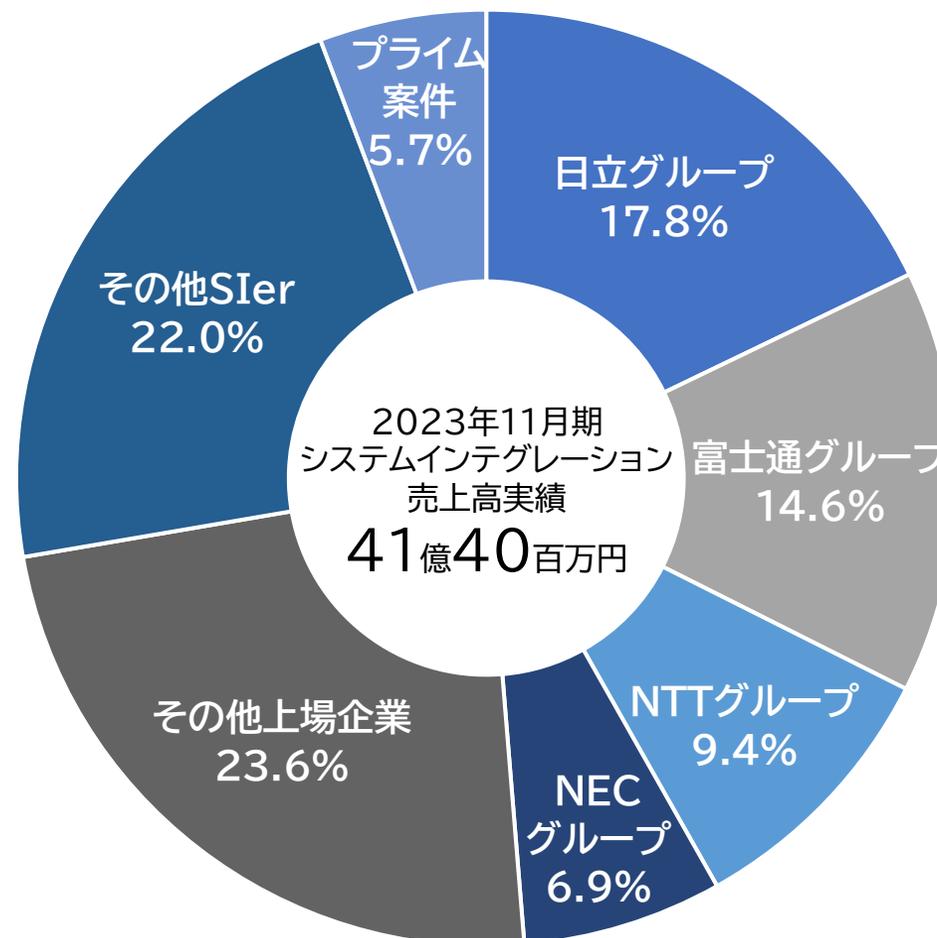
創業以来、独立系システムインテグレーターとして30年を超える実績を積み重ねて続けています。

システム開発実績とノウハウの蓄積を強みに、顧客との長期的な取引を継続しており、主要顧客である大手メーカー及び、上場企業からの受注が全体の**約72.3%**を占めており、当社グループの経営基盤として安定的な成長を実現しています。

システムインテグレーション売上高推移



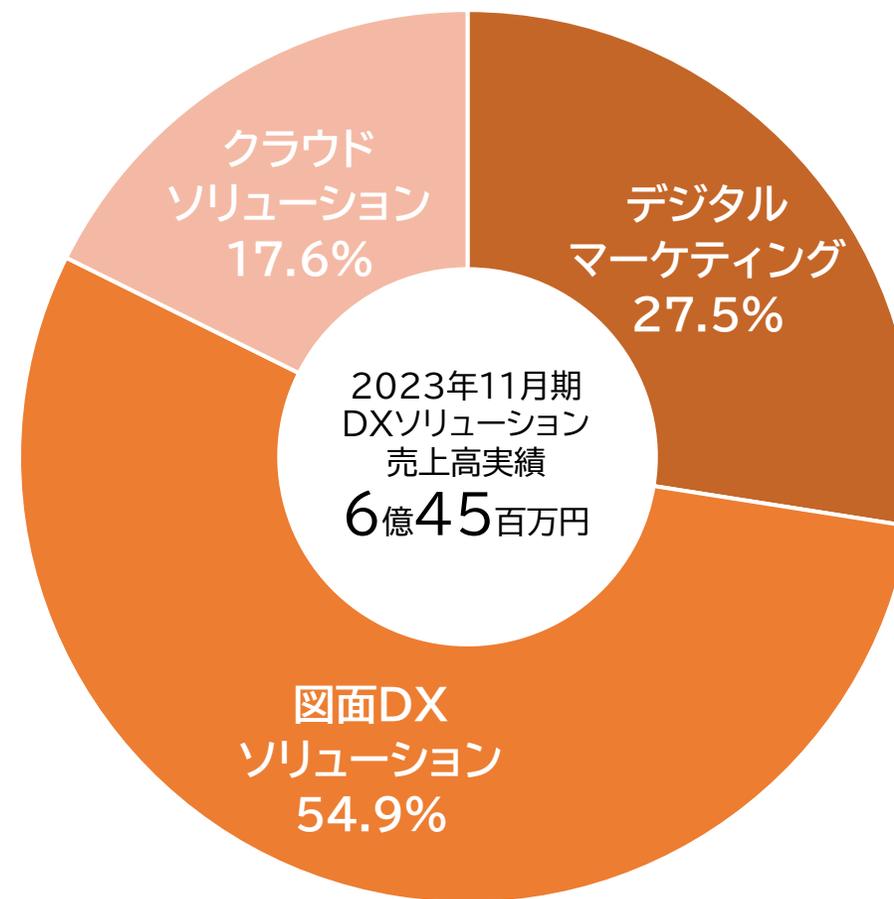
顧客分布 (2023年11月期実績)



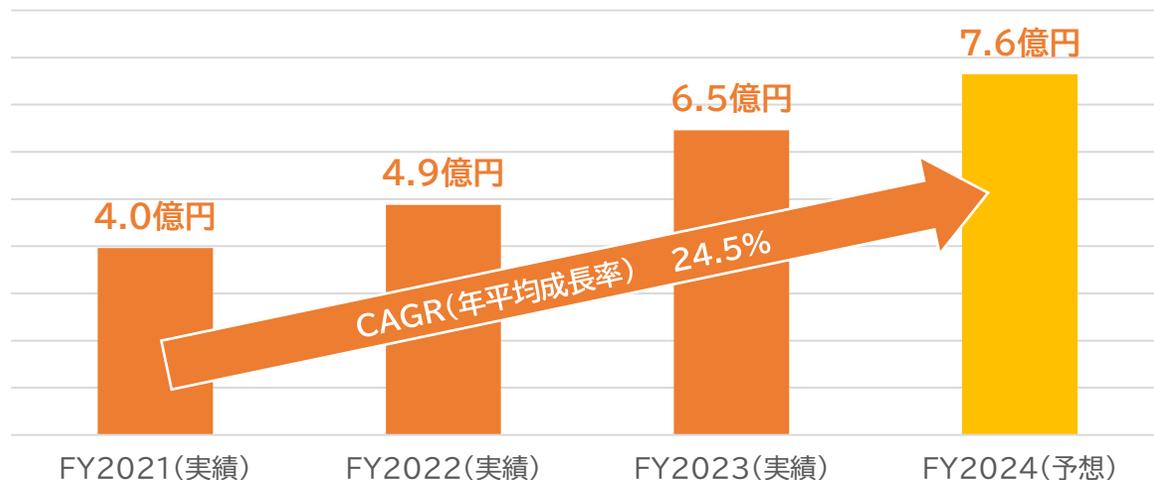
利益率の高い自社製品による独自のソリューションサービス

- デジタルマーケティングソリューション
Wisebook(ワイズブック)によるデジタルブックの制作・配信
- 図面DXソリューション
DynaCAD(ダイナキャド) 2D/3Dの開発・販売
足場仮設計画図等のCAD製図サービス
- クラウドソリューション
自治体申請ナビ・食事予約クラウドシステム、他

売上高内訳 (2023年11月期実績)

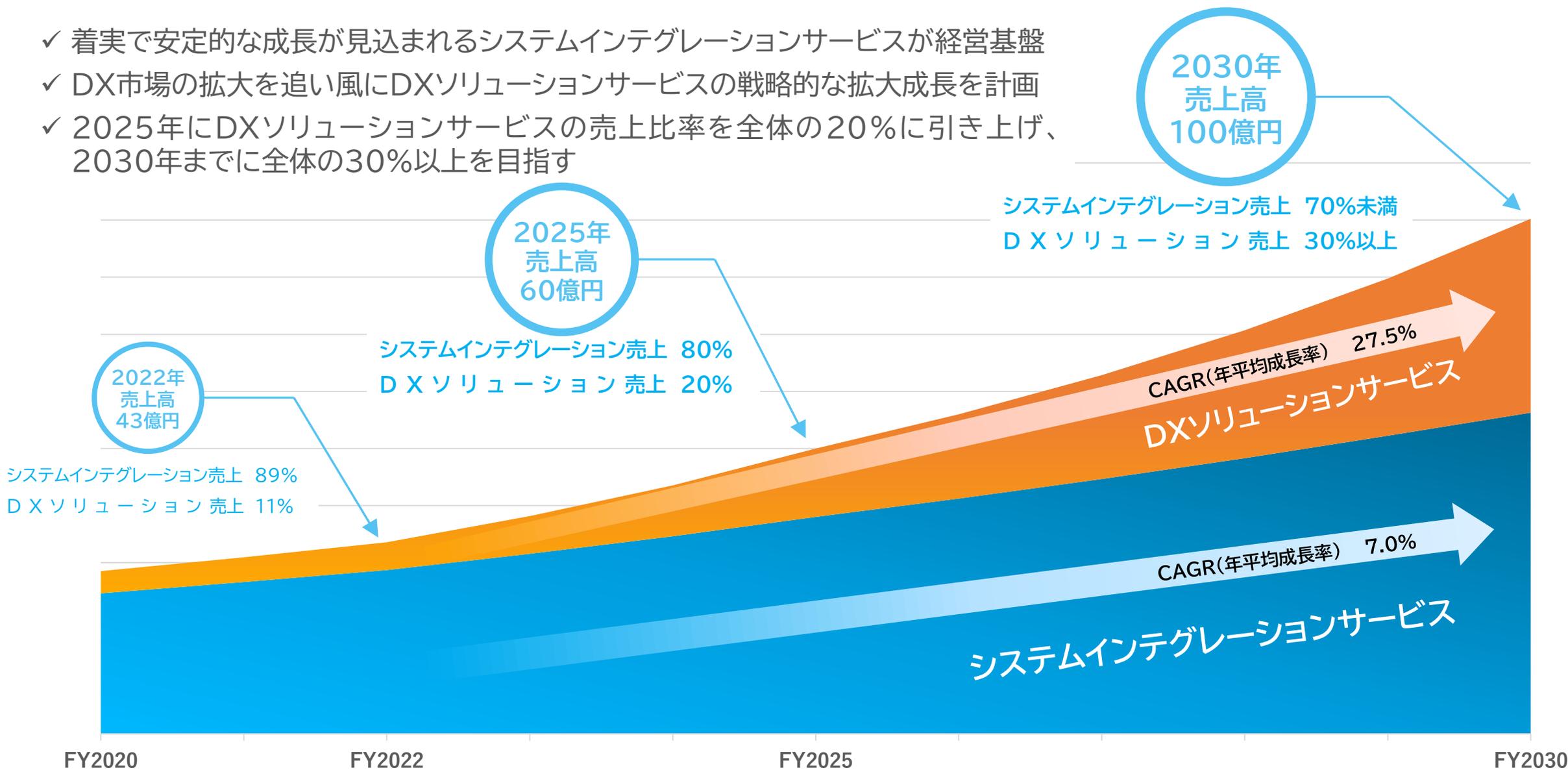


DXソリューション売上高推移



中期経営計画の基本戦略（売上計画）

- ✓ 着実に安定的な成長が見込まれるシステムインテグレーションサービスが経営基盤
- ✓ DX市場の拡大を追い風にDXソリューションサービスの戦略的な拡大成長を計画
- ✓ 2025年にDXソリューションサービスの売上比率を全体の20%に引き上げ、2030年までに全体の30%以上を目指す



\\ もっとITを //

MiTホールディングス

<本資料に関する注意事項>

本資料は、当社の業績及び今後の見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

<お問合せ先>

MITホールディングス株式会社
経営企画室

TEL 043-239-7252

E-Mail ir@mit-hd.co.jp